

⑤-11.1
防 1

電子複写不可



昭和二十三年三月二十八日。

渡(14A)集団情報記録綴



防衛研修所戦史部

別紙第一

呂宋島ニ於ケル東方中部呂宋

「ゲリラ」隊司令部覺書(感謝祭當日ニ與フ)十一月二十六日

(1) 當司令部ハ同地域内ノ隊員ニ對ス敵側
カ狙撃手段ヲ繼續スルモ其ノ機會ニ
乘セサル様觀察シ來リタリ而シテ感
謝祭ノ本日ヲ期シ全「ゲリラ」隊ハ廣範
圍ニ亘ル敵兵狙撃ノ計畫ヲ實行ス

ヲ要ス

(2) 左記ノ方法ニ依リ實施スルヲ望ム

(a) 「ゲリラ」隊員ハ一名若クハ夫レ以上カ一團トナリ國道附近ノ叢林ニ身ヲ潛メ敵兵及其ノ供給品ヲ滿載セル運搬車カ通過ノ際一齊ニ射撃セヨ注意ヲ以テ行ハハ隊員及武器ノ損失ナク又「ゲリラ」隊ノ行爲ト判明スル如キ手掛ルトナルモノヲ残置セルハ安全ニ引上ケ得ル可能性アリ斯ル手段ハ晝夜ノ別ナク行ヒ得ル

方法ナリ

但シ近クノ住民等ヨリ發覺シ敵カ復讐スル場合モ考慮シテ町或ハ村ヨリ或ル距離ヲ隔テタル地矣ニ於テ行フヘシ

(b) 鐵道沿線ニ於テモ (a) ト同様ナリ

(c) 巡視兵ノ居ル河川ニ於テモ (a) ト同様ナリ

(d) 市内兵營又ハ町ニ駐込スル敵側小部隊ノ一ニ若ハ四名カ一群トナリテ夜間外出シ食物ヲ探シ廻リ掠奪ヲ行ヒ

婦女子ヲボメ居ル者ヲ人知レス謀殺スルカ拉シ去ル方法ヲ講スルモ可ナリ但シ敵側ニ依リ報復手段ニ出テラレサル様手掛リトナルモノヲ残サス又完全ニ踪跡ヲ晦マズ事ニ慎重ヲ期セサルヘカラス其ノ死体ノ處置ニ就テハ密カニ埋メルカ重シ附ケテ河ノ深ミヘ投ケ込ムヘシ奴等カ銃ニテ制スルニ先立テ短刀棍棒「ボロ」及其ノ他ノ兇器ヲ使用セヨ

(c) 斯ル手段ハ主トシテ日本兵ニ對スモノニ

シテ第五部隊若シクハ「スパイ」等ニ適用セズ運搬車ノ妨害及供給品武器ノ押收ハ第二次的計畫ナリ但シ釋放俘虏ハス名マル、モノナリ

(3) 狙撃ヲ以テ襲ヒタル結果ヲ見ルニソソノ島別地域ニ於テ成果ヲ與ケケ居レリ

斯ル方法ヲ以テスレハ豫定ノ期間内ニ「バタ」ニテ戦死セシ數ヲ凌駕スルモノト豫想スル既ニ多クノ道路及各地地区ニ

ハ敵カ侵入シ来リタルヲ以テ危険甚シ然シ乍ラ南西太平洋方面ニテ米軍側優勢ニシテ敗戦氣味敵側ハ兵力ノ交替不能ナル現状ニ在リ

(4) 狙撃手段ハ今後採ル手段ノ龍撃戰法ト同一視セサル事、經驗深キ者ニ勝利ヲ與ヘラレルモノナレハ「ゲリラ」隊ニ對シ斯ノ如キ形勢ヲ考慮ニ入レテ萬全ノ努力ヲ拂フ様ニ命ス

(5) 全區隊長ハ各自管轄區内ハ責任ヲ負フヘク警告ス區隊長ハ管轄區内ノ住民ニ復讐ナカリシヤ又ハ部下及武器ニ損失ヲ蒙ラザリシヤニ注意セヨ其ノ要ヲ考ヘ區隊長ハ各自適當ニ計畫スヘシ

(6) 本覺書寫ハ全區隊長及中隊長宛速カニ送附スヘシ

T R バーカー ジュニヤト

送附先

各區隊長宛 寫一枚
 日ソソ島ガリラ隊本部宛 寫一枚
 南部日ソソ島方面本部宛 寫一枚
 綴込用寫一枚

別紙第二